

竹原の町並み観光 広がる客層

嵐のCM効果や古民家改修高級ホテル

国の重要伝統的建造物群保存地区(重伝建)である竹原市本町の町並み保存地区を訪れる観光客の客層が広がっている。江戸、明治期の風情が残る景観を楽しむシニアや、同地区が舞台の一つであるアニメ「たまゆら」のファンたちに加え、同地区で撮影されたとみられるテレビCMに出演した人気アイドルのファンが増加。富裕層をターゲットにした、古民家を使った高級ホテルもオープンし、人気となっている。

(山田祐)



町並み保存地区を散策する、アイドルグループ嵐ファンの女性たち

クリック

町並み保存地区 江戸や明治期に地域の発展をけん引した塩田経営者たちの旧宅が多く残

る。面積は約5畝で、建造物約350件のうち江戸期の建造が約20件、明治期が約40件ある。国の重要伝統的建造物群保存地区に1982年に選定された。

「たまゆら」に続き魅力増す

CMは日本航空が6月から全国で放映する「幸せのハート」編で、アイドルグループ「嵐」の5人が出演する。同社は「撮影地は非公表」とするが、町家や通りが同地区と一致するとインターネットで話題になった。CMは7月以降は首都圏などに縮小されたが、今も撮影スポットとみられる場所での女性ファンが記念撮影をする姿が目立つ。

CM内でメンバーの1人が竹製の風車を持つシーンがある影響で、市竹工芸振興協会が地区内の工房で販売する風車は連日約15個が午前中には売り切れる。同協会の有田博行会長(78)は「風車以外の製品の売り上げも伸びており、竹細工に関心を持ってもらうきっかけになった」と喜ぶ。

さらに、新たな観光客層の増加の拠点になると期待されているのが、同地区と周辺の古民家計3棟を改修して今月オープンした「ニッポニアホテル竹原製塩町」だ。同地区では唯一の宿泊施設で、全10室の宿泊費は1人当たり2万8千円

以上。市内では例のない高額だがオープン時に100組を超える予約が入った。

同地区の観光客は、2010年11月にオリジナルビデオアニメ「たまゆら」が発売されると、作中の場所を訪ねる「聖地巡礼」の若者が急増。さらに同地区でロケがあったNHK連続テレビ小説「マッサン」が14、15年に放映されると、年間10万人台だった観光客数が、ピークの15年には約54万4300人に拡大した。

一方、たまゆらが16年に完結すると観光客数が徐々に減少。16、17年は30万人台となり、西日本豪雨災害による宿泊キャンセルなどがあった18年は約28万7500人に落ち込んだ。嵐のファンや高級ホテルの立地を、地元経済界は観光客の裾野を広げるきっかけになると捉える。市観光協会の石井秀樹専務理事は「さまざまな理由で訪れてくれた人にリピーターになってもらえるよう、情報発信などを工夫していきたい」と話している。